

上越市長 村山 秀幸 様

上越市議会議長 飯塚 義隆

市民と議会の意見交換会で聴取した市民意見への対応について

市議会では、上越市議会基本条例に基づき市民と議会の意見交換会を 8 月 19 日～24 日に開催し、4 会場で寄せられた 71 の意見等について、課題調整会議においてその対応方針を協議いたしました。

つきましては、課題調整会議で行政運営の参考にしていただきたい「意見等」を整理しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、意見や対応方針等については、議会だよりや議会のホームページで公表しますのでご承知おきください。

記

1 行政運営の参考にしていただきたい意見等 【17 件】

(1) 市政の各種課題における情報提供について

「町内会長の報酬が減になる問題一つをとっても、その経緯について市民には何の情報も知らされていない。ホームページは自分から見に行かないと見られない。広報じょうえつが届くまで 10 日ほどかかるため、先の情報しか載せられない。議会としてしっかり検証してほしい。」(大島区)

(2) ふるさと納税活用について

「地域活性化のため、ふるさと納税の活用を検討してほしい。」(牧区)

(3) 地域活性化のための委託事業や補助について

「今年 4 月から市の宿日直の委託がなくなり、牧振興会の収入が減り、存続の危機にある。会費は各区の中で一番高く、上げにくい。振興会に対する新たな委託事業、例えば市道や林道の草刈などをお願いしたい。祭りなどは補助金が頼りで、地域活性化のために何とかしてほしい。」(牧区)

(4) 老人クラブ補助金の申請方法について

「老人クラブの補助金をもらうために 8 通もの申請書類がある。高齢者にとって、これらの作成は非常に困難であり、補助金申請をあきらめるケースもある。補助金の使途にも縛りがあり、健康・福祉・友愛の 3 つに関する行事に利用され、全額、または全額以上利用しなければ、補助金を返さなければならない。きちんとした用途に使用されているならば、このような縛りは必要ないのではないかと思う。」(大潟区)

(5) 道路周辺の整備について

「上越はとても道路が良いと思ったので、もっと産業や観光に有効活用できないか。例えば国道 405 号線は沿線付近に宿泊施設があり、少し行けば深山荘もある。それらを活用できないか。市や議会だけでなく、住民の皆さんも考えて欲しい。道路周辺の景観という視点で、自然環境整備に力を入れて欲しい。」(牧区)

(6) 歩道の危険箇所について

「大島区細越に約 65 メートルの歩道が県道を挟んであるが、のり面の基礎の部分の針金が出ているような状態である。数年前から要望を出しているが、何とかしてほしい。」(大島区)

(7) 排水機場の整備について

「お堀から稻田の排水機場への直結はいつ頃になるのか。東城 3 丁目は 8 月 1 日の集中豪雨において、1 時間の降雨で 30 cm 位の冠水となり、西城町も冠水した。排水機場にはあまり水がきていなかったのですが、排水路に問題がある。高田公園周辺の水が、バックウォーター現象で流れず、全て東城町 3 丁目に来る。この排水路で良いのか聞きたい。」(合併前上越)

(8) 排水機場のポンプ増設について

「排水機場の管理を市から当町内に委託されている。少しでも雨が降ると排水機場がパンクするが、問題となっているのは、排水機場にポンプが 3 台入っているのに、2 台しかないことである。これでは昨今の激しい降雨には対応できない。ポンプを 3 台にできるように国に働きかけて欲しい。」(合併前上越)

(9) 森林環境譲与税の用途について

「森林環境譲与税について、当市も数千万円のお金が入る。本来の山林整備や中山間地活性化等に使うよう市に伝えてほしい。」(牧区)

(10) 地域への植樹事業の補助について

「イタヤカエデを植え、メイプルシロップを作っている。メイプルシロップの産業の町にしたい。30 年すれば、樹液が取れるようにもなり、収入にもつながる。こういった長期の取組に対して将来の産業に向けた補助金を出して貰えれば、やる人達が増えてくれると思う。市は木を植えるとなると、業者に頼んでしまうが、地域の人達に補助金として出してほしい。」(牧区)

(11) 農業の鳥獣被害対策助成について

「自分が趣味で育てている畑ですら、カラスやハクビシン、タヌキに野菜が盗られてしまう。一所懸命、畑や田んぼを守ろうとする農業の人に助成する手立てはないのか。」(大潟区)

(12) 地主が不在の土地の改善について

「不在者地主があちこち増え、そういった土地がかなり荒れている。改善方法について検討して欲しい。」(大潟区)

(13) 公共下水道の促進について

「公共下水道について、近隣で何件か接続していない家庭があり、臭いで困っており、夏場は臭いが辛い。その人に話をしても、期限もなく条例等で罰則もないだろうと言われ、なかなか接続しない。下水道使用料と汲み取り費用では、金額も異なり、不公平感がある。」(大潟区)

(14) 新しい産業振興について

「上越市でも新しい産業振興をして欲しい。長岡市の磯田市長は熱心で、先駆的にやっている。起業支援センターを作り、大学生を中心に新しい事業の起こし方や起業の仕方をアドバイスしている。上越市のやり方は従来通り。議会でも長岡市を含め、調査・研究してほしい。高校・大学とも連携をとって欲しい。(要望)」(合併前上越)

(15) 新しい産業と有識者による新しい施策の実行について

「当市は、グランドデザインがないと感じる。先進自治体の事例を学び、ポストコロナという状況を捉え、新しい産業を作って欲しい。長岡技科大の人など、新しい施策等を考えられる人を集めて実行して欲しい。」(安塚区)

(16) 公共事業による騒音の影響について

「ジムリーナの建設に伴い、雨水対策として駐車場や建屋の排水路の整備工事が行われている。近所の床屋は、作業中の騒音が大きく、客が入らず業務に支障をきたしている。市から現場を見てもらったが、条例や規則がないということで泣き寝入りせざるを得なかった。なんとかならないか。」(大潟区)

(17) 高田城址公園の本丸復元について

「高田城址公園に名称変更した。本丸を復元したいと思っている。高田城址公園及び本丸の復元等の将来的な整備のビジョンを作ってほしい。」(合併前上越)